

[所 報]

1. 第9回事務局会議を11月16日(月)，後4時より開催。秋季所員総会準備として，(A)総会式次第，(B)事務局報告案，(C)議案〔所長改選，部長改選方法，社研研究体制のあり方など〕を中心に検討を加えた。
2. なお，このため第5回運営委員会を12月1日(火)後1時より，4階研究室1号室にて開催の予定。

----- ◇ ----- ◇ ----- ◇ -----

〔研究会についてのお知らせと動向〕

歴史グループ研究会

○ 12月11日(金) 後4時より 4階研究室にて

林 肇 氏「ドイツ中世都市の成立について」

(『月報』 11号所載の同氏論文参照のこと)

労働問題研究会

○ 11月28(土) 第2会議室において「春闘の問題点」というテーマで開かれた。

報告者倉野精三氏。なおこの内容は、本『月報』に発表の予定。

『月報』主要総目次一覧

第1号 〔社会科学研究所再発足記念の会〕

挨 拶	専修大学長	相 馬 勝 夫
再発足の経緯	所 長	山 田 盛太郎
構造研から社研発足へ	事務局長	長 幸 男

〔研究ノート〕

工業集積の形態と理論 江 沢 讓 爾

第2・3号 「管理通貨と価格運動」に関するノート 長 幸 男

いわゆる「不均等発展の法則」についてのノート(1) 森 田 桐 郎

第4号 独占価格理論の諸問題 高須賀 義 博

添田寿一の「主従の美風」論 近 藤 享 一

第5号 「諸形態」と「農業共同体」に関する覚え書(1) 望 月 清 司

物価論争覚え書 玉 垣 良 典

第6号 資本蓄積と競争のメカニズム 山 田 克 己

「諸形態」と「農業共同体」に関する覚え書(2)

第7号 福祉国家と兵営国家—1つのコメントー 福 島 新 吾

いわゆる「不均等発展の法則」についてのノート(2) 森 田 桐 郎

第8号 生産的労働に関する一断章 高 橋 七五三

いわゆる「不均等発展の法則」についてのノート(3) 森 田 桐 郎

第9号 現時点からみた財閥解体の功罪 梅 井 義 雄

「疎外の問題」覚え書 森 川 喜美雄

第10号	産業別組織化の実態からみた労働組合の問題	大友福夫
	E E C機構の法的一側面	打田峻一
	最近の石川島をみて—工場見学記(1)	栗木安延
第11号	憲法改定論における表現の自由の問題	隅野隆徳
	ドイツ中世都市成立論についての反省	林毅
第12号	社会学の成立史にかんする諸問題	芥川集一
	日本钢管水江・川崎両製鉄所を見学して—工場見学記(2)	栗木安延
第13号	明治末期における「特約紡績」をめぐって	加藤幸三郎
	最近のソビエト経済関係雑誌の目次	
第14号	銀行「系列融資」の評価について	龍昇吉
	北京シンポジウム参加日誌から	川上正道
	鉄鋼業実態調査経過概要	総合実態調査班

<編集後記>

1. 本年最後の『月報』をお届けする。国際的にも、国内的にも激しい変化の続いた1年であった。本来の『月報』の姿を来年も続けたいと切望するが、このところ原稿の見透しが、稍明るくなったことを皆さんとともに喜びたい。
2. 所員の発表業績はつきの通りである。

〔論文〕

宮崎犀一 「イギリス社会主義への道」—イギリス労働党の経済政策—『経済セミナー』12月号
 森田桐郎 「南北問題の経済学(5) 低開発国と日本経済」(『経済セミナー』1月号)
 玉垣良典 「現代資本主義の経済像」(『経済評論』12月号臨時増刊)
 加藤幸三郎 「綿糸紡績業の移植・確立・独占化」(楫西光速編『絨維(上)』)[『現代日本産業発達史』第11巻]所収、交詢社出版局11月刊)

(事務局 加藤(幸)、加藤(佑)記)

東京都千代田区神田神保町3の8
 専修大学社会科学研究所 電話(262)3671~5

(発行者) 山田盛太郎